

第 2 回せとうち福山鞆の浦トライアスロン

ランキングイベント第 2 戦

(福山市)

報 告

日 時 : 2018 年 6 月 10 日 (日)

スタート : 7 時 40 分

参加者数 : 305 人 + リレー部門 40 チーム

距 離 : スタンダードトライアスロン = スイム 1.5km ・ バイク 40km ・ ラン 10km

結 果 : 総合 11 位 (年代別 1 位)

記 録 : 2 時間 18 分 58 秒

スイム 22:17 (10) バイク 1:17:14 (16) ラン 39:27 (6)

※ () 種目別順位

地元で 2 回目を迎える今大会。同じく 2 回目の招待選手として出場しました。地元で楽しみな反面、見られる位置の重圧を作ってしまったっていました。終わってホッとしているところです。さて今回は、当初同日開催で出場予定だった大崎上島ハッピートライアスロンをキャンセル、地元優先させて頂きました。大崎上島は恩があるため 9 日前日のジュニアトライアスロンはレクチャーをしたり、大会を見届けるお手伝いをしてきました。16 時のフェリーに乗り福山トライアスロンの開会式、レセプションへ駆けつける流れで時を過ごしました。

今回もスイムがスタート前から不安でなりませんでした。練習では必ず 200m あたりから腕が重く動きにくくなるのです。息苦しくなると選手としてのモチベーションの維持ができにくくなります。

当日は台風の影響か瀬戸内の落ち着いた波とは大違いで 50 人もの途中危険がスイムで起き、国内でも珍しい現象となりました。そんな状況のスイムが返って私は挑戦でき、腕を大きく振り回すことで波を抑え、かえって心配した腕の重さ(しびれ)を回避できたようです。

そこから一気にいけると思っていたバイクが練習以下のペースしか出せなく、思ったように前に進めない・・・気持ちが落ち着いてしまった面もありました。それでも最後まで、あきらめないことをあきらめないようにレースを続行し、ランで粘った形でした。

ケガをする前には、昨年の私の前には優勝者一人でしたが、今前には当時は後ろにいた選手が 9 人いることが現実です。ケガして落ちている自分を突き付けられるようです。ですが、奇跡的に今レースができていることを考えると、まだまだこれから！と今は思っています。今後ともよろしくお願いします。

トライアスリート福元哲郎



